

【特集】
さあ、一緒に！
スポーツ王国
北海道

スポーツの力で、北海道を元気に！
人と地域が輝く北海道を目指し、
スポーツで活力を生み出していきます。

▶特集に関するお問い合わせ 道庁スポーツ振興課 ☎(011)206-6387



●北海道らしいスポーツ環境づくりを

一年を通してさまざまなスポーツを楽しむことのできる環境は、北海道ならではの魅力です。スポーツの力で健康な体と豊かな心を育て、活力ある地域をつつていこうと、道では「スポーツ王国北海道」の実現に向けた取り組みを進めています。この取り組みでは、ウィンタースポーツや北海道発祥のスポーツ(ミニバレー、パークゴルフなど)の振興、プロスポーツの応援など、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりに力を注いでいます。

●スポーツを通じた取り組みで未来を拓く

国内では、ラグビーワールドカップ2019日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、スポーツに対する人々の関心はこれまでにないほど高まっています。道内でもこうした好機をとらえ、道民の皆さんがスポーツに親しみきっかけづくりや、新たなビジネスモデルの創出、観光を始めとした交流人口の拡大など、ひと、げんきの好循環を生み出していくことが大切です。道では、スポーツのビッグイベントを契機に世界に羽ばたく「どさんこ選手」を育成・育成するなど、スポーツを通じた国際交流を戦略的に展開し、スポーツで北海道と世界をむすんでいきます。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピックの成果を子どもたちに引き継ぎ、未来につながる道を切り拓いていきます。こうした考えをもとに、道は今年度から5年間で取り組む「第2期北海道スポーツ

推進計画」を策定しました。計画では、「①スポーツで変わる北海道民 ②スポーツで変える地域・経済・共生社会 ③どさんこ選手の国際競技力の向上 ④スポーツを通じた人づくり ⑤東京2020オリンピック・パラリンピックの開催、札幌冬季オリンピック・パラリンピックによる北海道レガシー*の創出」という5つの柱で取り組みを進めています。

*レガシー/未来に受け継がれる業績

みんなで応援しよう！

道内開催予定の主なビッグイベント

- 第74回国民体育大会冬季大会
スケート・アイスホッケー競技会/2019年1月30日～2月3日(釧路市内4会場) スキー競技会/2019年2月14～17日(札幌市内3会場)
- ラグビーワールドカップ2019日本大会
2019年9月20日～11月2日(札幌ドームを含む全国12会場)
- 東京2020オリンピック・パラリンピック
オリンピック /2020年7月24日～8月9日(札幌ドームを含む全国40会場) パラリンピック/2020年8月25日～9月6日(※道外21会場)

世界に羽ばたけ!どさんこアスリート

●北海道タレントアスリート発掘・育成事業

道では、未来のトップアスリートを育てる「北海道タレントアスリート発掘・育成事業」を進めています。これは、競技経験の有無にかかわらず、素質ある有望な選手を発掘し、組織的・計画的に育成する取り組みです。具体的には、北海道の地域特性を生かした冬季競技のカーリング、スケルトン、パイアソンの3競技に特化し、タレント生(選手)を発掘・育成することにより、10年間で日本代表入りを目指します。事業開始から5年目を迎え、タレント生が全国・国際大会に出場するなどの成果を上げています。



タレント生が集まった合同合宿

●北海道パラアスリート発掘プロジェクト

～12月2日(日)パラスポーツ体験会を開催～
 道では、パラスポーツ(障がい者スポーツ)を広く知っていただくとともに、将来のパラリンピック選手を発掘する「北海道パラアスリート発掘プロジェクト」に取り組んでいます。障がいのある方を対象とした体力測定会や、どのような競技に適性があるかといった相談会のほか、障がいのない方も含めて、どなたでも参加できるパラスポーツ体験会などを12月2日(日)に北翔大学(江別市)で開催します。ぜひご参加ください。

北海道パラアスリート発掘プロジェクト

世界を切り拓く姿勢が、パラスポーツの価値を高めていく。

パラリンピックへの連続出場はことしの平昌大会で4回目。金メダリストとして今後も成長し続けるために、新たな目標を持ってトレーニングに励んでいます。今季はオフシーズンの練習拠点を道外から各都市に移したことで、充実した施設や自然環境を生かしたメリハリのあるトレーニングができるようになりました。故郷の北海道に身を置いていることが、心身のリラックスにもつながっています。東京2020パラリンピックへの追い風もあり、近年、パラスポーツへの注目度が高まっていることをうれしく思います。これをブームで終わらせず、パラスポーツの価値を高めていくには、選手一人一人が世界を切り拓く覚悟でレベルアップをすることが大事。私たち現役選手の姿勢が、将来のパラアスリートやスター選手を育てる土台になるのだと思います。



アルペンスキー パラリンピック日本代表 狩野 亮さん (マルハン所属/網走市出身)



写真提供/特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

もっと身近に楽しく、スポーツに触れよう!

●スポーツチャレンジ教室/ペアレンツ・スクール



9月に南幌町で行われた「スポーツチャレンジ教室」

子どもたちにスポーツの楽しさや魅力を伝え、保護者には子どもたちの健やかな成長をサポートする大切さを伝えるために、道では、「スポーツチャレンジ教室」と「ペアレンツ・スクール」を道内各地で毎年行っています。「スポーツチャレンジ教室」では、オリンピック選手などが講師となって、楽しみながら体を動かし、スポーツの基本などを指導しています。また、保護者向け講習会の「ペアレンツ・スクール」では、体のケア、食事、子どもとの距離感、指導者との関係など子どものより良いサポーターとなるために必要な考え方を、講師の実体験を交えて伝えています。

●プロスポーツチームが地域を元気に

北海道を拠点として活動するプロスポーツチームには、北海道コンサドーレ札幌(サッカー)、北海道日本ハムファイターズ(野球)、レバンガ北海道(バスケットボール)、エスポラーダ北海道(フットサル)、ヴォレアス北海道(バレーボール)の5つがあります。こうしたプロスポーツチームは、地域のスポーツ振興だけでなく、スポーツの力を生かした北海道の魅力発信や道民の連帯感づくりなどにも貢献しています。道は、道内のプロスポーツチームと連携して地域活性化などの取り組みを行っているほか、それぞれのチームがスポーツ教室やイベントなどを通じて地域貢献活動に取り組んでいます。

悔しさを乗り越えて、人は成長する。スポーツのすばらしさを伝えたい。

どさんこオリンピックの一人として、北海道への恩返しのため「スポーツチャレンジ教室」「ペアレンツ・スクール」の講師を担当しています。スポーツは人間形成に密に関わっています。私も結果が出せないときに悔しい思いをたくさんしましたが、それを乗り越えた経験の中から多くのことを学び、人間的に成長できたと感じています。最初からセvensのある選手よりも、努力しては上がった選手のほうが、トップアスリートには多いのです。保護者の皆さんには、長い目でお子さんの成長を見守っていただきたいですね。継続を力にするためには、ワクワクするような目標を持って行動することが大事。アジア大会2連覇を果たした現在は、陸上選手で最年長。さらに新たな目標に向かって、日々トレーニングを続けています。



陸上十種競技 オリンピック日本代表 右代 啓祐さん (国土屋クラブ所属/江別市出身)

こんにちは!

赤れんが

お問い合わせは
 ▶マークの窓口、またはホームページへ。

視覚障がい者向け 道政資料の送付について

道では、視覚障がいのある方に向けた点字版の選挙のお知らせや道政広報誌などを作成しています。公共施設や福祉団体へ配布して備えているほか、希望する方には点字版資料の送付も行っていますので、詳しくは電話でお問い合わせください。

- 選挙のお知らせ(点字版)
- 選挙公報(全文点訳版) ほか

▶北海道選挙管理委員会事務局 ☎(011)204-5153

●点字版広報誌「ほっかいどう」
 ※パソコンなどで音声読み上げソフトをご利用の方は、ホームページで広報誌の内容を聞くことができます。

▶道庁広報広聴課 ☎(011)204-5110

北海道の未来を担う 若者を応援!

道では、北海道の未来を担う若者の海外留学を支援するため、企業や道民の皆さんからのご寄附やご協力をいただきながら、「ほっかいどう未来チャレンジ基金(みらチャレ)」を運営しています。

- 【ご協力いただける取り組み】**
- キャンペーン商品の購入(アサヒビール「ブラックニッカ ハイボール 呑む夜」など)
 - 店舗での募金(道内イオングループ各店舗で12月17日(月)～2019年1月20日(日)実施予定)
 - 古本の寄贈(通年実施中) など

皆さんの温かいご支援をお待ちしています。

みらチャレ

▶道庁総合教育推進室 ☎(011)206-7380

はじめよう! エコ&セーフティドライブ

地球温暖化の原因とされているのが、

二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスです。北海道は、全国に比べて運輸部門から排出されるCO₂の割合が高くなっています。

道ではCO₂排出量を減らし、安全運転にもつながる「ふ〜んわりアクセル」「早めのアクセルオフ」などのエコ&セーフティドライブの取り組みを進めています。

「エコドライブ 10のすすめ」の一つ

●ふ〜んわりアクセル

発進から5秒で時速20kmになるくらいが目安。燃費が10%程度改善し、冬道ではタイヤのスリップも抑えられます。

※詳しくはホームページをご覧ください。

北海道 エコ&セーフティ

▶道庁気候変動対策課 ☎(011)204-5190

土砂災害にご注意ください!

大雨のときや雪解けの季節はもちろんです。地震で地盤が緩んでいるときは、少しの雨でも土砂災害の危険が高まる恐れがあります。もしものときを考え、日頃の備えや早めの避難を心掛けるようにしましょう。

【土砂災害に関する情報をチェック】

- 自分の家の周りを確認しましょう
普段から、家の周辺の危険な箇所を把握しておきましょう。なお、道では、土砂災害の恐れのある区域を明らかにするために、「土砂災害警戒区域等」の指定に必要となる基礎調査が完了した区域を「北海道土砂災害警戒情報システム」内で公表しています。
- 大切な命を災害から守るために
雨が降り始めたら、雨雲の動きと気象警報、「土砂災害警戒情報」に注意し、早めの避難に備えましょう。

土砂災害警戒情報システムはこちら

北海道土砂災害警戒情報システム

携帯サイト

▶道庁河川砂防課 ☎(011)204-5560

子どもを虐待から守るために

次のような、虐待を受けていると思われる子どもを見かけたら、お近くの市町村や児童相談所に連絡してください。

- いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- 不自然な傷や打撲の痕がある
- 衣類や体がいつも汚れている など

「いちちはやく 知らせる勇気 つなぐ声」

児童相談所 全国共通ダイヤル **189**

※一部のIP電話からはつながりません

▶道庁子ども子育て支援課 ☎(011)204-5237

犯罪被害に遭った方への支援について

犯罪被害に遭った方々に対する理解を深め、社会全体で支援できるよう、道では「北海道犯罪被害者等支援条例」を施行しました。犯罪被害者は、犯罪による直接的なダメージだけでなく、心身の症状や医療費などの経済的負担など、被害後もさまざまな問題に苦しめられています。

警察では、事件や事故の被害に遭われた方や家庭内暴力、ストーカーなどで悩んでいる方の相談も受け付けています。他にも、心の傷が癒えずに悩んでいる方のために、民間被害者相談窓口のカウンセラーが話を聞いてくれます。一人で悩まずに、ご相談ください。

【警察相談電話】

- 被害者相談
- 性犯罪相談110番 #8103
- 少年相談110番 ☎0120-677-110
- 一般相談 #9110

【その他の相談電話】
 北海道被害者相談室 ☎(011)232-8740
 性暴力被害者支援センター北海道(SACRACH) ☎050-3786-0799

また、被害者のご遺族や障がいが残った被害者などには、国が給付金を支給する「犯罪被害者給付制度」があります。詳しくは道警本部またはお近くの警察署にお問い合わせください。

▶道警本部警務課 ☎(011)251-0110

おすすめ! 地域から

総合振興局・振興局の話題をお届けします。

渡島総合振興局

渡島地域で水揚げされるブリを味わって!

近年、道内ではブリの来遊量が増加し、特に渡島地域は全道一の漁獲量となっています。



イベント会場で渡島のブリをPR

そこで渡島地域ではブリの消費拡大を目指し、函館市内の生産者や加工関係団体、行政などで構成する「はこだて・ブリ消費拡大推進協議会」を設立。道内ではまだなじみの薄いブリの認知度向上などに取り組んでいます。イベントなどでブリを使った料理や加工食品の販売を行ったほか、ブリ料理のレシピ・コンテストを行い、振興局のホームページで紹介しています。▶水産課 ☎(0138)47-9481

オホーツク総合振興局

「ロコ・ソラーレ」が「オホーツクール」な魅力を発信

オホーツク管内18市町村で組織するオホーツクイメージ戦略推進委員会では、地域のイメージ発信事業「オホーツクール」に取り組んでいます。2018年度はアンバサダーにオホーツク地域出身の女子カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」を迎えました。夏にはPRポスターが東京モルレル車内をジャックしたほか、特設サイトではメンバーのおすすめスポーツ紹介やインタビュー動画を掲載。今後もさまざまな形で「オホーツクール」な地域の魅力を発信します。

オホーツクール

▶地域政策課 ☎(0152)67-5621



「オホーツクール」ポスター